

令和6年度 第1回「検討の場」議事概要

日時：2024年6月17日（火） 13:30～15:30

場所：鹿児島森林管理署会議室

出席者：

【環境省】笠原課長・宮下専門官・園田自然保護官（九州地方環境事務所国立公園課）、竹中首席企画官・岩下自然保護官（屋久島自然保護官事務所）

【林野庁】魚住課長・下田自然遺産保全調整官（九州森林管理局計画保全部計画課）、松永課長・飯星野生鳥獣管理指導官・内村保護係長（同計画保全部保全課）、森本署長・歌野技術指導官・高本総括森林整備官・木崎主任森林整備官・迫森林整備官（屋久島森林管理署）、奥村所長、古市行政専門員（屋久島森林生態系保全センター）

【鹿児島県】山下技術主幹兼野生生物係長・原田技術主査（環境林務部自然保護課）

【屋久島町】真辺主査（産業振興課）

【受託者】中村主任技師（日本森林技術協会）

欠席者：米森林業技師（環境林務部自然保護課）、塩谷顧問（九州自然環境研究所）

配布資料：

- ・令和6年度第1回「検討の場」 表紙、出席者名簿
- ・令和5年度第2回ヤクシカ WG 合同会議における主な意見・助言等に対する今後の取組方向（資料1）
- ・令和5年度及び令和6年度林野庁九州森林管理局による調査事業の概要（資料2－1）
- ・植生の保護・再生手法の検討（資料2－2）
- ・森林生態系の管理目標に関する現状把握・評価について（資料2－3）
- ・令和5年度ヤクシカの生息状況について（資料3－1）
- ・鹿児島県のヤクシカ対策について（資料3－2）
- ・令和6年度の取組概要（資料4－1）
- ・令和6年度シャープシューティングの体制による計画捕獲の実施について（案）（資料4－2）
- ・令和5年度の屋久島西部地域におけるヤクシカ計画捕獲結果（資料4－3）
- ・令和6年度の屋久島西部地域におけるヤクシカ計画捕獲結果（資料4－4）
- ・西部地域対象モニタリング（資料4－5）

議題

- 1 「令和5年度第2回ヤクシカWG合同会議における主な意見・助言等に対する今後の取組方向」の確認について【資料1】
- 2 九州森林管理局委託事業について【資料2－1～3】
- 3 鹿児島県における令和5年度及び6年度指定管理鳥獣捕獲等事業について【資料3－1～2】
- 4 環境省における令和6年度の取り組みについて【資料4－1～5】
- 5 その他

■議題1 「令和5年度第2回ヤクシカ WG 合同会議における主な助言・意見等に対する今後の取組方向」の確認について【資料1】

令和5年度第2回合同会議における主な助言に対する今後取組方向の確認については、解答欄にあるとおり、適宜、各機関においてご対応いただきたい。

<意見・質問等>

- ・西部地域について「持続的活用に向けたワーキンググループ」は西部の森の保全と適正な利用の促進であり、ヤクシカについては議論していない。回答をわかりやすくするため、この部分を削除して修正したい。(環境省)

■議題2 九州森林管理局委託事業について【資料2-1~3】

資料に基づき事業概要を林野庁九州森林管理局から説明し、その後質疑応答。

<主な説明内容>

○九州森林管理局の令和5年度事業概要

- ・例年どおりヤクシカの生息密度調査、植生の保護・再生手法の検討、森林生態系の管理目標に関する現状把握・評価、湿原におけるヤクシカの生態調査の4項目を実施。それぞれについて説明。

○昨年度のヤクシカ WG での未報告分の調査結果について

- ・花之江河ではヤクシカの撮影数が1/3に減少。但し、糞塊数は例年よりも多いため、設置カメラ付近での活動が減っただけの可能性もある。その他、冬季の湿原利用が減少したことが考えられる。ヤクシカの性齢は雄成獣の割合が多い。
- ・小花之江河でのヤクシカの撮影数が約1.2倍に増加。ヤクシカの性齢は雄成獣の割合が減少し、雌成獣や幼獣の割合が増加。
- ・外来種についてはタヌキが両湿原で2年連続撮影されたが、ノイヌは撮影なし。
- ・花之江河のヤクシカの糞塊は8月と10月の両方で増加したほか、糞のサイズから性齢の異なる様々な個体が活動。
- ・小花之江河のヤクシカの糞塊は昨年度とあまり変わらず、極めて少ない。
- ・令和5年度の捕獲数とCPUEについて、河川界区分別に見ると、捕獲数が多かったのは一湊、宮之浦の河川界区分9や大川林道の区分7。CPUEが高かったのは区分6。月別に見ると、捕獲数は1月の115頭で最多でCPUEは5月が最大。
- ・平成22年度から経年変化を見ると、捕獲数は平成26年度が最多で、CPUEは平成24年度が最大。

<意見・質問等>

- ・森林生態系管理目標の今後の取組予定について、森林生態系管理を行う上で「重要な地域を検討する」というのは、今までやっていたのか。(環境省)

→実際には、目標を達成した地域と達成できていない地域を明らかにしているくらいなので、「重要な地域を抽出する」に修正したい。(日林協)

■ 議題3 鹿児島県における令和5年度及び6年度指定管理鳥獣捕獲等事業について【資料3-1～2】

資料に基づき事業概要を鹿児島県自然保護課から説明し、その後質疑応答。

<主な説明内容>

○令和5年度ヤクシカの生息状況について

- ・推定生息密度 20 頭/㎢以上が全体の 47%、50 頭/㎢以上が 21%、100 頭/㎢以上が 8%。
- ・生息密度が前年度より増加したのは 25 地点、減少したのは 12 地点。
- ・ヤクシカ密度ポテンシャル図を見ると、河川界区分 5 と区分 8 の一部で密度が高い。また、令和 4 年度と比較して減少箇所が見られたのは区分 1,4,5,6,9,10。その他は増加。
- ・推定個体数は、河川界区分 2,3,5～9 で昨年度より増加し、区分 10 で減少。全体では昨年度より増加。

○鹿児島県のヤクシカ対策について

- ・ヤクシカによる農業被害額は、平成 23 年度の 41,968 千円をピークに減少し、令和 5 年度は 2,210 千円。作物別に見ると、タンカン・ポンカンの被害が多い。
- ・捕獲頭数は平成 27 年度以降減少し、令和 5 年度は 2,255 頭。また、全捕獲頭数のうち、約 98% が有害捕獲を含む許可捕獲。
- ・令和 5 年度に湯泊林道地区で実施した指定管理鳥獣捕獲等事業の捕獲結果は目標頭数の 52.5% となった。
- ・性比はオス：メスが 1：3.2 でメスが多い。
- ・令和 6 年度の指定管理鳥獣捕獲等事業についてもヤクシカを対象としたい。実施箇所は、個体数増加を踏まえ、2 工区で実施できないか検討中。

<意見・質問等>

- ・捕獲個体についてメスの比率が高いが、くくり罠の捕獲ではこのような傾向なのか。(環境省)
- 他の地域では傾向は違う。ここだけメスの比率が高くなった。(鹿児島県)
- 林野庁の事業では、捕獲個体のオス、メスの比率はほぼ 1：1。また親と子も 1：1。(屋久島森林管理署)
- ・雌雄別捕獲頭数の推移の表について、有害捕獲の数が屋久島町の集計と少し違うので確認してほしい。(屋久島町)
- ・指定管理鳥獣捕獲等事業の 2 工区での実施について、どのあたりを想定しているのか。(屋久島森林管理署)
- 島の南側と北側に 1 箇所ずつを考えているが、具体的にはこれから検討。(鹿児島県)
- ・鹿児島県で整理されている糞粒調査結果について、WG 委員からの意見を踏まえ、第 2 回 WG では、植生調査結果と比較できるようにしたいため、データが整理できたらご提供いただけないか。糞粒調査箇所ごとの位置情報（緯度経度）と密度推定値について過年度も含めて用意いただけるとありがたい。(九州局、日林協)
- 承知した。(鹿児島県)

■ 議題4 環境省における令和6年度の取り組みについて【資料4-1～5】

資料に基づき事業概要を環境省九州地方環境事務所から説明し、その後質疑応答。

<主な説明内容>

○令和6年度の取り組み概要

- ・(1)ヤクシカの生息状況の把握（糞粒・糞塊調査の実施および両調査結果の相関分析）、(2)捕獲等の被害防止対策（ヤクシカ捕獲状況の情報整理、シャープシューティングの体制による計画捕獲の実施）、(3)森林生態系の管理目標及びその他植生モニタリング等（ヤクシカによる被害状況等調査、絶滅危惧種のモニタリング調査）、(4)特定エリアの対策（西部地域におけるヤクシカ計画捕獲の実施、西部地域におけるヤクシカ管理に関するモニタリング）を例年同様実施。
- ・新たに(5)その他として、島民へのヤクシカ対策に関する普及啓発を行う。

○令和6年度シャープシューティングの体制による計画捕獲の実施について（案）

- ・実施候補としてはカンカケ林道の1箇所待ち伏せ型の誘引捕獲を行うことを予定。
- ・5月末より試し誘引とカメラ調査を実施中。
- ・資料に記載のある「林野庁委託事業未実施地域の補完」という文言は不適切なので修正する。
- ・事前にハンターさんや鈴木先生に説明を行う。

○令和5年度の屋久島西部地域におけるヤクシカ計画捕獲結果

- ・西部の2箇所の囲い罠の結果について前回WGでは速報値であったため、今回は確定値として報告。
- ・捕獲数は11頭で前年度から半減しており、止め刺しの際の囲い罠への警戒や、囲い罠からの脱出が課題。

○令和6年度の屋久島西部地域における計画捕獲の実施計画書

- ・昨年度の結果と課題を踏まえた今年度の取組を紹介予定。
- ・囲い罠を2基から4基に増設予定。
- ・ヤクシカが本土の個体より小さいことを考慮した脱出できない高さを検討。
- ・時期は9月から3月の間に4回程度を予定。
- ・電殺機で捕殺するにはシカに近づく必要があり、暴れてしまうため、離れた距離から捕殺できる空気銃の使用を考えており、WGの鈴木委員や八代田委員にも意見を求める予定。

○西部地域対象モニタリング

- ・前回は8月までのデータの報告だったため、今回は12月までのデータや性比・年齢について報告予定。

<意見・質問等>

- ・捕獲個体の搬出について小瀬田の町営牧場は使えない。（屋久島町）

→承知した。（環境省）

■ ヤクシカ等に関するモニタリング計画改訂案について

＜主な説明内容と意見＞

○モニタリング計画改訂案のうち、ヤクシカ等に関する WG 委員の意見への対応案

（午前中の幹事会の議題だったが、ヤクシカ等に関する部分は検討の場で行うこととなった。）

・ 錯誤捕獲のモニタリングの可否について

→ 錯誤捕獲のモニタリングとして、錯誤捕獲の実態を確認できるか。（環境省）

→ 錯誤捕獲について報告義務はないため難しい。またヤクシカの罠にサルがかかったとしてもサルも有害対象なので錯誤捕獲にはならない。（鹿児島県、屋久島町）

→ 屋久島の場合、どのような錯誤捕獲が問題なのか鈴木先生に確認した方がよいかもしれない。（環境省）

→ 委託事業であれば、任意で錯誤捕獲の情報を出してもらうことはできるかもしれない。（九州局、屋久島森林管理署）

・ モニタリング内容に年齢構成や繁殖状況を含めることについて

→ 環境省の捕獲ではそれも含めてやっている。他の機関の状況はどうか。（環境省）

→ 昨年度は歯からの年齢判定はしているが、繁殖状況まではわからない。（鹿児島県）

→ やっているなら、書いた方がよいという意図の意見と思われる。そのあたりの実態を委員に説明すればよいと思う。（環境省）

・ ヤクシカ捕獲に対する捕獲努力量・捕獲効率の記載について

→ CPUE を算出する過程で捕獲努力量を出しているので併記はできる。（屋久島森林管理署、鹿児島県）

・ シカ密度や植生回復に伴う表土流出量の変化について

→ 過年度に事業でやっているのので報告書を確認して対応案を検討したい。（九州局）

・ 農林業被害額や狩猟者数、食肉利用状況を指標や評価基準に入れることについて

→ 数値を出すことはできるか、評価が難しいのでは。（屋久島町）

→ 被害額については少ない方がよいと思うが、それ以外は参考数値として扱うのが良いのではない。（環境省）

→ 有害捕獲個体、指定管理捕獲の搬入数は把握できる。（鹿児島県、屋久島町）

→ 狩猟捕獲についてはどう利用されているかわからない。（鹿児島県）

・ ヤクシマザル、タヌキの有害捕獲数のモニタリングについて

→ 有害捕獲は把握している（屋久島町）。

■ 議題5 その他

○屋久島森林管理署によるヤクシカ対策について

- ・ヤクシカ対策について、今年度は大川林道と小楊子林道での捕獲を考えている。捕獲効率が高いところを集中的に行う予定。本年度は早めに開始し、期間を長くとり、間に捕獲しない期間を設けて実施することを予定。(屋久島森林管理署)

○科学委員会報告用のヤクシカ WG の議事概要について

- ・例年、ヤクシカ WG 終了後、翌日に矢原委員長が科学委員会で報告するための議事概要を作成しているが、各行政機関に確認しながら夜遅い時間まで作成作業している状況がある。矢原委員長の了解の上という前提はあるが、何かよい方法はないか。(九州局)
- ・報告部分については、事前に作成できる。矢原委員長に報告部分のほか、当日の意見概要も必要か確認してみる。(九州局、日林協)

→矢原委員長が当日の意見概要も必要ということであれば、これまでどおり WG 終了後に作成するため、各行政機関の担当者におかれては、WG 当日に電子メールが確認できる媒体(ノート PC、タブレット、スマホ等)を持参してきてほしい。(日林協)

○ヤクシカに関するモニタリング計画の改訂について

- ・昨年度もモニタリング計画改訂案のうちヤクシカ関係部分はヤクシカ WG が担当していた。科学委員会でも意見があればいただくが、本年度も主な担当はヤクシカ WG にしたい。(環境省)
- ・また、全体を把握できる方がよいこと、WG にはヤクタネゴヨウやヤクシマザル等、ヤクシカ以外にも詳しい委員がいること等から、資料はヤクシカ関係以外の部分も含め、科学委員会と同じものとする。(環境省)

○糞塊調査・糞粒調査の効率化について

- ・環境省で糞塊・糞粒調査を行っているが、環境省のヤクシカ関係予算の半分位をこの2つの調査にかけている。予算が厳しくなっている中、残りの予算で捕獲等、他の調査をやっている状況。捕獲部分に力をかけたいため、例えば糞粒・糞塊調査を毎年行う必要があるのか、隔年で行えないか等、今後相談させてほしい。(環境省)

○ヤクシカ WG 合同会議について

- ・7/25 の14~17時に屋久島文化村センターで開催。プレスリリースは7/19に科学委員会と同時発表。(九州局)
- ・矢原委員長への事前説明は7/12の13時半からWEB会議形式で実施。WEBのため、鹿児島県、屋久島町のご担当者にもご参加いただきたい。(九州局)
- ・6/28までを資料提出の期限としているが、前倒しして提出してもらえると助かる。(九州局)
- ・本日の概要については作成次第、送付するので各機関には確認をお願いしたい。(九州局)